

2021年度 大学院一般入試第2回 出題の意図

経済経営学研究科 修士課程 経営学専攻

科目	出題の意図
経営情報	経営情報学の観点から企業を取り巻く経営環境について理解し、事例を用いながら自分の考えを論理的に表現できるかを問う問題である。
企業経営	①企業経営者としての能力とし求められる、自社の将来予測と偶発的な事象も含め、的確に判断を下すために必要な手法を問う。 ②自社のセール製品（商品）の持つ特性をカテゴリー別に適時整理し、新たな戦略を練るために必要な考え方を問う。 ③自社だけでは対応できない、将来的な課題や戦術に対して、どのような戦法で相手方に魅力を得られるよう薦められるか、販売手法について問う。
会計	大学院修学のハードルとなる財務会計の基礎的知識を問うため出題した。

2022年度 大学院一般入試第2回 出題の意図

薬学研究科 博士課程

科目	出題の意図
外国語	本学開講の専門科目の内容に関する問題を中心に、大学院で研究を進めていく上で最低限必要と考えられる基礎的な知識の修得度、理解度を問う問題を出題し、その内容を正しく英訳し論理的な説明ができているか、という観点で出題した。

2023年度 大学院一般入試第2回 出題の意図

国際言語文化研究科 修士課程

科目	出題の意図
専門科目 アジア言語文化	当該試験は、①史料読解問題、②用語説明、③論述問題の3つで構成される。①は日本史学を研究する上で基本かつ重要な材料である史料を正確に読解し、内容を的確に理解できているか、②は日本史学研究に必要な基本的かつ重要な用語の知識を持っているか、③は時代や地域を横断して、そのテーマについての的確な文章で論理的に解説できるか、を判断するためにそれぞれ出題した。
日本語	問1から問6は、書き言葉の日本語で書かれた実際の文章を読んで問いに答える問題である。読解問題として、文章の流れや内容が理解できているか、また理解した内容を日本語で決められた字数にまとめて書けているか等を見る。また、漢字の読み、文法、文脈に合った語彙の選択等の問題も含まれる。問7では、文章に関連したテーマで、指示にしたがって自分の考えをまとまりのある文章で書けるかどうかを把握するものである。